

神奈川県立平塚江南高等学校における学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した

審議会名称	神奈川県立平塚江南高等学校 令和6年度 第3回学校運営協議会
開催日時	令和7年3月15日(土)13:30～15:00
開催場所	神奈川県立平塚江南高等学校 会議室
[役職名] 出席者	<p>[委員] 穴戸 章子(会長) 山崎 幸子 金田 岳志 香取 祐亮 齋藤 弘 鈴木 奏到 武田 恵美子 井野 雄二(副会長、平塚江南高等学校長)</p> <p>[事務局] 岩崎 幸代(副校長)、本城 純美(教頭)、今福 聡(事務長)、 植田 渥士(総括教諭)、島川 淳(総括教諭)、 小坂 宏之(総括教諭)、森谷 清一(総括教諭)、 三笠 裕史(総括教諭)</p>
会議資料	<p>令和6年度学校評価報告書(実施結果) 令和7年度学校評価報告書(目標設定) 生徒による授業評価アンケート結果 魅力と特色アンケート結果 令和6年度地域行事等参加一覧 生徒の活動成果一覧 校則変更について 1 学年進路通信</p>
	<p>開会 1 校長あいさつ [井野校長] 令和6年度学校評価報告書(実施結果)および令和7年度学校評価報告書(目標設定)について忌憚のないご意見をいただきたい。スーパーサイエンスハイスクールⅡ期申請の結果については近日中に結果が通告される予定だが、通告され次第お知らせする。</p> <p>2 学校運営協議会の開催にあたって ○第2回学校運営協議会内容確認 ア. 令和6年度学校評価報告書(中間報告)について イ. SSHの取組み、およびSSH Ⅱ期申請について ウ. 学校予算執行状況について エ. オフィス改善について</p> <p>3 協 議 (1)令和6年度学校評価報告書(実施結果)について 【穴戸会長】 学校評価報告書(実施結果)について事務局から説明いただきたい。</p>

【植田総括教諭】

視点1について(教育課程 学習指導)

- ・授業改善につきまして、生徒による授業評価の回答結果が若干目標を下回っており来年度の課題として認識している。
- ・魅力と特色づくりアンケートについては、教科外活動(行事、部活動等)については満足度が高かった。

【本城教頭】

- ・授業改善部会でのご意見として、毎授業における狙いや課題が生徒・教員で共有されているか。ICTを活用した授業はなされていても、活動が学びにつながっているかが課題なのではないか、というご指摘を頂いた。

【森谷総括教諭】

視点2について(生徒指導 生徒支援)

- ・教育相談の充実を目指し、ケース会議も必要に応じて開催した。
- ・かながわ子どもサポートドックについては3回実施し、課題が顕在化していない時点での発見につながりSC、SSWにつなぎ支援を実施したケースがあった。課題としては面談を実施する場所の環境や確保に問題がある。
- ・生活規律面では自転車事故や苦情の件数は昨年並みであった。
- ・SNS関係のトラブルが一部で起きており、スマートフォンの使用方法に関しては引き続き指導が必要である。
- ・生徒会関係については、部活動、学校行事を通してリーダー性の育成や自律的に活動する力をつけられるよう支援をしてきた。部長会を4回開催するなどしたが、部室棟やトレーニングルームの整理などに未だ課題がある。次年度からは部長、副部長の代表を2名制にし、次の学年に承継できるようにしたいと考えている。
- ・生徒会活動においては、会長が公約に掲げた校則変更に向けて活動が続いている。

【穴戸会長】

視点3(進路指導・支援)について、説明願いたい。

【島川総括教諭】

視点3について(進路指導・支援)

- ・今年度新たに2年生対象として講師を招き受験対策をテーマに講演会を実施した。また、3月には保護者にも参加を募り進路講演会を行う予定である。
- ・今年度卒業生の実績は現在取りまとめ中であるが、受験校の数が減少しているため例年をやや下回るのはないか、という感触である。
- ・12月までに進学先を決定したいという意向が強くなっており、大学側も早期に合格者を決定する方向性にあり、受験の様相が変わってきている。

【穴戸会長】

視点3について、委員からご質問等あるか。

【鈴木委員】

進路部会でこの話を伺って、同窓会としてどのようにサポートできるかを検討しなければと考えているところである。

【穴戸会長】

視点3の4年間の目標の②について、今年度1年間の目標にはまだ反映していないので、来年度はこの点についても目標設定が必要であろう。

続いて視点4(地域等との協働)について説明願いたい。

【三笠総括教諭】

・資料中に今年度地域連携に関わった事例をまとめた。公民館事業に参加したり、地域のこどもを招いての学習援助などを実施した。その他には高齢者の方を救助した事例で平塚市から表彰された生徒もいた。課題として、地域に存する学校として地域からのご要望を承る姿勢・体制を充実させる必要があると考えている。

【齋藤委員】

防災的な観点からも、生徒と地域住民が対話(会話)できるような内容のプログラムがあると、発災時にも有効にその関係性が機能するのではないかと考える。

【香取委員】

11月に講演会で協力させていただいたが、来年度もぜひ協力させていただきたい。風水害が増えている傾向にあるのでそちらの内容(ハザードマップの活用法等)でも協力できることはあると考えている。

【穴戸会長】

今回の学校目標(実施結果)について十分な成果があげられているにもかかわらず、達成状況が具体的に記述されていないところが散見される。成果が見られ、達成状況良好なところもぜひ記述されることを勧める。

次に視点5(学校管理学校運営)について説明願いたい。

【本城教頭】

- ・不祥事防止会議・研修を10回実施。毎回研修内容についての意見感想が報告されており、研修の内容が浸透していると考えている。引き続き来年度も継続し不祥事防止を啓発し続けたい。
- ・ICT活用により、職員打合せ、会議の時間短縮を図ることができている。しかし、直近の数ヶ月間で時間外勤務が80時間を超えている教員が1名おり、産業医による面談を実施した。また、年度当初や学校行事のある時期は時間外勤務が多くなる傾向があり、休日勤務振替や休暇を取りやすい環境づくりを図っていきたい。
- ・来年度、保護者や地域からの過度な要求を抑制するための取組みと、また時間外の電話対応を制限することを目的にして、全県に音声応答録音機能を備えた電話機の導入が決まっている。これによって働き方改革が推進されと考えている。
- ・オフィス改善の実施は12月を予定している。

【穴戸会長】

オフィス環境、働き方の面で民間企業の視点から金田委員からご助言はないか。

【金田委員】

弊社の事例であり、完全に機能していないところもあるが、年間の業務計画の中に休暇を織り込んで計画するようにしている。また、海外との(オンライン)会議があると深夜に勤務が及ぶが、そのような場合には勤務間インターバル(11時間以上空ける)、などを求めている。学校でも勤務加重な期間のあとに休暇を設けるなどは取組めるのではないかと考える。

【穴戸会長】

各委員のご意見を踏まえて、このあと、穴戸と山崎委員がとりまとめ校長に第三者の視点として意見を申し述べたい。

(2)令和7年度学校評価報告書(目標設定)

【穴戸会長】

令和7年度学校評価報告書(目標設定)について各委員にご意見を伺いたい。

【齋藤委員】

学校の広報の一環で、PTAが独自にSNSを活用してよいか。

【井野校長】

生徒の個人情報等に配慮いただければ、やっていただいて良い。

【武田委員】

学校広報の一環として、平塚という町の魅力づくりに本校が何か貢献できないかと考える。

【鈴木委員】

県の補助事業である「地域づくり活動支援事業の次世代まちづくりセミナー」や「HIRATSUKAまち・ひと・魅力づくりフォーラム」に関わっているが、大学、高校生の参加を募り、まちづくりに関する意見を述べてもらう催しの中で若者らしいアイデアが出されている。このような場に関わって実現していくことも考えられるのではないか。

また、平塚には先端技術を持った企業が立地しており、そういった企業で研修見学することを通して探究心を深めたり、そのような情報を発信することに中高大学生が関わり、町の魅力づくりに関われるのではないか。また、このようなことを通してキャリア形成の一助にできないかと考えている。協力できるところは協力したい。

【山崎委員】

SNSなどによる情報発信も大切だが、直に接する活動はより地域に浸透すると考えるので、地域と協働する活動を小中学生に直に見せる機会を増やすとよい。

【武田委員】

進路指導・支援に関する評価観点に第一志望への進路希望の実現割合が挙げられているが、入学してからの3年間で進路希望は変化していくものと考ええる。また進路実現については(受験など)の結果が満足いくものであれば、一定の評価ができると考える。これに関して卒業後の意識調査は実施しているか。

【井野校長】

卒業後の意識調査は実施できていないが、卒業直前に行っている魅力と特色ある県立学校づくりについてのアンケートに同様の項目についての回答がある。

【穴戸会長】

- ・視点1の評価の観点について、文言の修正が必要ではないかと考える。
- ・同様に視点2の評価の観点についても生徒の自立性と主体性について文言の修正が必要ではないかと考える

【井野校長】

ご協力に感謝する。頂いたご意見を踏まえて令和7年度学校評価報告書(目標設定)を改めてお示しする。

【宍戸会長】

本協議会は学校運営全般に関して、保護者、地域住民等の意見を反映させる観点で校長を経由して意見を述べることでできるとされている。各委員から教育委員会に対してご意見はないか。

【鈴木委員】

施設の老朽化に関して、10年ほど前に同窓会で話題になっていたが立ち消えの状態である。

【宍戸委員】

本校校舎の竣工は1961-62年であり、すでに60年を超えている。学校としての考えはいかがか。

【井野校長】

まなびや基金もいただく予定になっており、もし校舎が新築されれば寄付をいただいた方々へ気持ちにも沿うことになると思う、ぜひ熟議をお願いしたい。

【鈴木委員】

校舎建て替えに当たっては代替え地の検討など、公共施設再編途中の平塚市と協力することも可能なのではないかと考える。過去に同窓会でも協力できることはないかという話題もあったので、今後も協力したい。

【宍戸会長】

では、施設の老朽化に関して、ご異論なければ、校舎新築の要望を教育委員会に意見を申し出ることとするが、いかがか。

【承認】

意見の文言などは会長に一任でよい。

【承認】

4 報 告

(1)魅力と特色アンケート結果について

【宍戸会長】

次第4 報告に入る。

(1)魅力と特色アンケート結果について、報告願いたい。

【本城教頭】

本年度3年生生徒・保護者を対象としたアンケートである。おおむね満足度の高い結果を得ている。課題としては大学・専修(専門)学校、他高校等との連携による学習活動について満足度が低いところがあり、来年度以降の課題ととらえている。

また、就業体験活動等によって職業について考える機会やボランティア活動等により社会貢献の体験ができたかという項目で満足度が低いところも課題ととらえている。

地域連携についてはコロナ禍で途絶えたものもあり、平塚七夕まつりへのボランティア参加など徐々に増やしていきたい。

(2)学校予算について

【宍戸会長】

(2)学校予算について、報告願いたい。

【今福事務長】

本校への再配当予算額の97.4%執行済みとなっている。

このうち、人件費などを除いた教育施設維持修繕費、学校施設各種営繕、学校

施設長寿命化対策費は100%執行済みである。維持運営費は92.4%の執行となっており、図書館図書整備費は99.9%の執行となっている。

まなびや基金については来年度財務課より照会調査、執行は令和8年度になる予定である。

(3)校則変更について

【穴戸会長】

(3)校則変更について、報告願いたい

【森谷委員】

変更の内容は未だ具体化していないが、現在生徒会で校則の変更を検討しており、委員の皆様にもご承知おきいただき、ご意見あれば伺いたい。

【穴戸会長】

委員からご意見はあるか。

特にないようであれば、ご報告いただいたことを承知した。

閉会